



大衆と共にの立党精神のままに 一人一人に寄り添って参ります。



2011年3月11日に発生した東日本大震災から13年目。
犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

公明党宮城県本部では3月9日に市内で復興創生会議を開催。2021年、東日本大震災から10年を契機として「人間の復興10年委員会」を設置し、巡りくる私たちの3月11日に2度にわたって政策提言を実施し「防災・減災」への歩みを進めてまいりました(私は1期メンバーでした)。

今般3期の方々から政策提言があり、まさに「心の復興」が最も重要であるとのご意見が寄せられました。今年1月に発生した能登半島地震の復旧・復興には息の長い支援が欠かせません。3.11の経験と知見を積極的に発信していけるよう後押ししてまいります。変化していく被災現場のニーズを的確にとらえ、伴奏型の支援を継続してまいります。

東日本大震災の発災以来、「大衆とともに」の立党精神のままに被災者一人一人へ寄り添って参りました。これからも「人間の復興」の具現化に新たな決意でまい進します。

仙台市議会についてですが、第1回定例会が3月14日に閉会致しました。
令和6年度予算等審査特別委員会(全議員で構成する特別委員会を設置し、当初予算について審査を行う)が2月27日から3月13日まで行われ、委員長の任を努めました。

新年度予算に計上されている「学校納付金にかかる集金アプリの導入」について、保護者への説明不足、経済的負担の軽減の検討が不十分であること、また、サービス事業者の選定に関しても、地域経済活性化の観点も含めた検討が十分に尽くされているとは言い難い、との意見が相次ぎ、予算委員会の採決にあたり附帯意見(「〇〇をするように」とか「◇◇について努力するように」といった、委員会としての意見)を付け加えたうえでの賛成としており、住民の意見を反映させる方向で意見をまとめることが出来ました。議会の最終日には、委員会での審査の経過、付帯意見を委員長として報告させて頂きました。

仙台市議会議員 佐々木まゆみ





「国際女性デー」「女性の健康週間」の街頭演説
(3月16日)

国際女性デーはミモザの日とも言われ、花言葉は「感謝」
感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張ってまいります。



宮城野西支部支部会を開催
(2月21日)

雪が降り寒い中での開催でしたが、多くの方々にお越し頂きました。
庄子賢一衆議院議員からは国政報告を、
大池こういち県会議員は支部会デビューでした。



みやぎ女性議員のつどい (3月25日)

県内の超党派の現職議員と勇退された女性議員で構成されており、
コロナ後、改めて総会と研修会が開催されました。



全国介護事業者連盟宮城県支部及び障害福祉事業部会宮城県支部
合同新年会に参加 (1月29日)



小・中学校の卒業式、そして入学式
(3月9日、15日・4月8日、9日)

幸町小・中学校に来賓として参加させて頂きました。



仙台塩釜港(仙台港区)コンテナターミナル供用式典に参加 (3月23日)



佐々木まゆみプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野区選挙区)。現在4期目。
【仙台市議会】経済環境委員会委員。文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会委員。

日々の活動は
フェイスブックを御覧ください。



Facebook